



2022年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月12日

上場会社名 マニー株式会社

上場取引所 東

コード番号 7730 URL <http://www.mani.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 齊藤 雅彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長 (氏名) 高橋 一夫

TEL 028-667-1811

四半期報告書提出予定日 2022年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年8月期第1四半期の連結業績(2021年9月1日～2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第1四半期	4,728	12.6	1,713	22.1	1,911	50.3	1,322	34.4
2021年8月期第1四半期	4,199	3.4	1,403	0.1	1,271	19.5	984	6.3

(注) 包括利益 2022年8月期第1四半期 1,754百万円 (119.7%) 2021年8月期第1四半期 798百万円 (48.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第1四半期	13.43	
2021年8月期第1四半期	10.00	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年8月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年8月期第1四半期	43,088	39,775	92.3
2021年8月期	42,693	39,202	91.8

(参考) 自己資本 2022年8月期第1四半期 39,775百万円 2021年8月期 39,202百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年8月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期		11.00		12.00	23.00
2022年8月期					
2022年8月期(予想)		12.00		13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年8月期の連結業績予想(2021年9月1日～2022年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,944	7.7	2,692	1.0	2,554	6.8	1,771	12.1	18.00
通期	18,801	9.4	5,892	10.2	5,615	1.1	3,985	7.1	40.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年8月期1Q	106,911,000 株	2021年8月期	106,911,000 株
期末自己株式数	2022年8月期1Q	8,484,459 株	2021年8月期	8,484,459 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年8月期1Q	98,426,541 株	2021年8月期1Q	98,426,565 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）（以下、「新型コロナ」という。）に対するワクチン接種の普及により、各国において行動制限の段階的な緩和に伴い回復基調にありました。一方で、経済回復により需要に供給が追いつかない状況が散見され、原材料市況や輸送運賃の高騰、サプライチェーンの乱れを引き起こしております。さらに足元では新たな変異株による新型コロナの感染再拡大への警戒感が強まっており、先行き不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループにおきましては、「世界一の品質を世界のすみずみへ」を使命として、次の成長に向けて当連結会計年度を初年度とする中期経営計画をスタートさせております。当社グループのさらなる成長を目指して営業・生産・開発の各機能のグローバル化を進めることでビジネスモデルの変革を行い、企業理念実現のための取り組みを進めております。それに加え、当社グループの持続的成長及び持続可能な社会の両立のため「MANIサステナビリティ」を掲げており、当社グループ会社を含めたCO2排出量の削減策推進、ダイバーシティ施策の実行による組織の活性化を通じて外部環境変化への対応力を高めていくことなど、各種方策に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における経営成績は以下のとおりです。

欧州、アジアを中心として需要が回復したため、売上高は4,728百万円（前年同期比12.6%増）となりました。グループ会社の販売強化等により販売費及び一般管理費が増加したものの、売上高の増加及び売上原価率の改善等により営業利益は1,713百万円（同22.1%増）となりました。経常利益は為替差益が前年同期より増加したこと等により1,911百万円（同50.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に計上された投資有価証券売却益がなくなったものの、経常利益が増加したこと等により1,322百万円（同34.4%増）となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

(サージカル関連製品)

品質評価の高い眼科ナイフの売上高が欧州及び北米で堅調に推移したことから、売上高は1,305百万円（前年同期比13.3%増）となりました。売上高が増加したこと等により、セグメント利益（営業利益）は466百万円（同17.8%増）となりました。

(アイレス針関連製品)

アジア及び欧州において新型コロナからの回復により需要が回復したことから、売上高は1,339百万円（前年同期比15.7%増）となりました。また、売上高の増加及び売上原価率の改善等により、セグメント利益（営業利益）は487百万円（同22.8%増）となりました。

(デンタル関連製品)

中国及びインドで販売が拡大したことに加え、韓国において販売が堅調に推移したこと等により、売上高は2,083百万円（前年同期比10.3%増）となりました。また、売上高が増加したこと等から、セグメント利益（営業利益）は758百万円（同24.3%増）となりました。

なお、製品自主回収によりアイレス針関連製品及びデンタル関連製品で軽微な減収影響がございました。当社としては本件回収事案を重く受け止めており、管理体制の強化を進めると共に再発防止並びに信頼回復に向けて取り組んでまいります。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ394百万円増加し、43,088百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ178百万円減少し、3,312百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれる未払費用が増加した一方、未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ573百万円増加し、39,775百万円となりました。これは主に、配当金の支払いがあったものの、為替換算調整勘定の増加及び親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、「（1）経営成績に関する説明」のとおりであります。通期の連結業績予想につきましては、2021年10月8日の「2021年8月期 決算短信」で公表いたしました数値に現時点で変更はありませんが、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の状況を注視してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,287	18,372
受取手形及び売掛金	1,901	2,092
有価証券	608	601
商品及び製品	772	661
仕掛品	3,885	4,006
原材料及び貯蔵品	1,808	1,871
その他	369	403
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	27,631	28,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,033	4,063
機械装置及び運搬具(純額)	4,206	4,378
土地	3,873	3,893
その他(純額)	1,122	1,124
有形固定資産合計	13,235	13,460
無形固定資産		
のれん	73	48
ソフトウェア	24	26
その他	796	815
無形固定資産合計	895	890
投資その他の資産		
投資有価証券	387	357
繰延税金資産	350	199
保険積立金	177	159
その他	15	12
投資その他の資産合計	931	729
固定資産合計	15,062	15,080
資産合計	42,693	43,088

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	156	138
未払金	373	566
リース債務	69	70
未払法人税等	1,004	404
賞与引当金	462	376
その他	493	906
流動負債合計	2,559	2,462
固定負債		
リース債務	59	43
役員退職慰労引当金	102	33
退職給付に係る負債	582	580
資産除去債務	151	158
その他	35	34
固定負債合計	931	849
負債合計	3,490	3,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	988	988
資本剰余金	1,036	1,036
利益剰余金	39,750	39,892
自己株式	△3,125	△3,125
株主資本合計	38,650	38,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41	34
為替換算調整勘定	571	1,007
退職給付に係る調整累計額	△60	△57
その他の包括利益累計額合計	552	984
純資産合計	39,202	39,775
負債純資産合計	42,693	43,088

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)
売上高	4,199	4,728
売上原価	1,462	1,638
売上総利益	2,737	3,090
販売費及び一般管理費	1,333	1,376
営業利益	1,403	1,713
営業外収益		
受取利息	14	28
受取配当金	1	—
為替差益	—	176
その他	4	10
営業外収益合計	21	215
営業外費用		
支払利息	0	0
シンジケートローン手数料	0	0
外国付加価値税等	22	4
未稼働用地関連費用	—	11
持分法による投資損失	13	—
為替差損	57	—
自宅待機時休業補償等	58	—
その他	1	0
営業外費用合計	154	17
経常利益	1,271	1,911
特別利益		
保険解約返戻金	—	5
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	107	—
特別利益合計	107	6
特別損失		
固定資産除却損	0	2
役員退職慰労金	0	33
特別損失合計	0	36
税金等調整前四半期純利益	1,377	1,881
法人税、住民税及び事業税	344	405
法人税等調整額	48	153
法人税等合計	393	559
四半期純利益	984	1,322
親会社株主に帰属する四半期純利益	984	1,322

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	984	1,322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74	△6
為替換算調整勘定	△118	435
退職給付に係る調整額	2	3
持分法適用会社に対する持分相当額	4	—
その他の包括利益合計	△185	431
四半期包括利益	798	1,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	798	1,754

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、リベート等の顧客に支払われる対価について、従来、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に与える影響はありません。

また、当第1四半期連結累計期間の売上高については13百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年9月1日至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	1,152	1,158	1,889	4,199	-	4,199
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	0	-	0	△0	-
計	1,152	1,158	1,889	4,200	△0	4,199
セグメント利益	396	396	610	1,403	-	1,403

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年9月1日至2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	1,305	1,339	2,083	4,728	-	4,728
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1	-	1	△1	-
計	1,305	1,340	2,083	4,729	△1	4,728
セグメント利益	466	487	758	1,713	-	1,713

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。